

わが家の危険性&避難ルール

災害時には、自らの判断で避難行動をとることが重要です。いざという時のためにあなたや家族全員の避難ルール、連絡方法について事前に話し合い、記入しておきましょう。

わが家の危険性を確認！

冊子に入れてある地図で自宅をチェックしましょう。

①

「土砂災害警戒区域」
の中にありますか？

②

「洪水浸水想定区域」
の中にありますか？

③

「防災重点ため池
浸水想定区域」
の中にありますか？

あなたの自宅の危険性を確認して下の表に記入しましょう。

わが家の避難ルール (マイタイムライン)

地図で自宅から避難所までのルートの確認をしましょう。

実際に家族で避難所までのルートを確認して危険箇所がないか確かめて見ましょう。

	自宅の危険性	どこへ避難するか	避難にかかる時間 (準備+移動=合計(分))	いつ避難するか (避難行動開始)
記入例 (土砂災害)	土砂災害警戒区域内	〇〇避難所 〇〇親戚・友人宅	準備:30分、 移動:徒歩20分 計50分	土砂災害警戒情報が 発表されたら
土砂災害				
洪水				
防災重点 ため池				
地震				

家族の連絡先	家族の名前	会社・学校の電話番号	携帯電話番号	その他(アレルギー、常備薬、病気)

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報
(介護状況・救急隊員への伝言など)をお書きください。

指定緊急避難場所・指定避難所

避難所等に避難される場合は、事前に開設状況を確認してください
問い合わせ：香春町役場 総務課 TEL 0947-32-2511

施設名称	住所	施設名称	住所
香春町町民センター	大字高野 987-1	旧採銅所小学校・体育館	大字採銅所 6095
フレッシュワークかわら	大字高野 987-1	旧香春中学校・体育館	大字香春 152
香春町体育センター	大字高野 987-1	香春思永館・体育館	大字高野 1431
香春町中央隣保館	大字高野 1393	田川高校・体育館	大字中津原 2055-1
香泉荘	大字高野 727		
旧香春小学校・体育館	大字香春 751		
旧勾金小学校・体育館	大字高野 758	総合運動公園(一時避難場所)	大字高野 1390
旧中津原小学校・体育館	大字中津原 812	道の駅香春(一時避難場所)	大字鏡山 1870-1

香春町災害対応 ガイドブック

Kawara
Town

保存版

令和4年3月



INDEX

防災情報等

- 1… 避難情報について
 - 2… 台風・大雨の際の避難行動
 - 3… 水害(洪水)
 - 4… 風水害・台風
 - 5… 土砂災害
 - 6… 地震
 - 7… 特別警報を知っていますか？
 - 8… 日頃の備え
 - 9… 災害時に役立つ知識
 - 10… 避難時の心構え
 - 11… 避難所について
 - 12… 地域で災害に備えましょう
- 表紙裏…わが家の危険性&
避難ルール・避難所一覧

ため池ハザードマップ

- 13… 防災重点ため池
- 14… 源治葉山(野中)ため池
- 15… 平ノ浦ため池
- 16… 福光・丸山(上)・丸山
ため池
- 17… 蛇谷原ため池

香春町ハザードマップ

- 18… 防災メモ・
香春町ハザードマップ
(A1判)



香春町役場

福岡県田川郡香春町大字高野 994
☎0947-32-2511 FAX 0947-32-4815
<http://www.town.kawara.fukuoka.jp/>

避難情報について

避難情報に関するガイドラインが改定されました。(令和3年5月20日)

警戒レベル 4 避難指示で必ず避難 いままでの避難勧告は廃止です

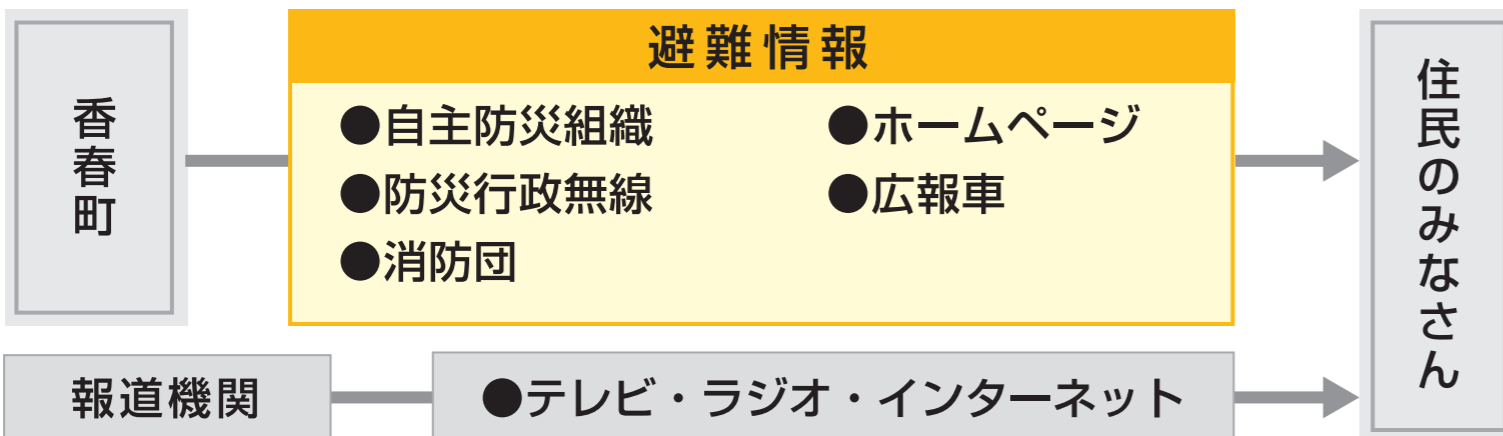
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
高	5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保*1
~~~~~警戒レベル4までに必ず避難!~~~~~			
危険度	4 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示*1
	3 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難*1
	2 気象状況の悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報*2
低	1 今後、気象悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報*2

・警戒レベル5は、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるとは限りません。  
 ・警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。  
 ・内閣府/令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループによる最終とりまとめ(令和2年12月24日公表)を基に記載しているため、表現等は変更になる場合があります。  
 *1 香春町が発令 *2 気象庁が発表

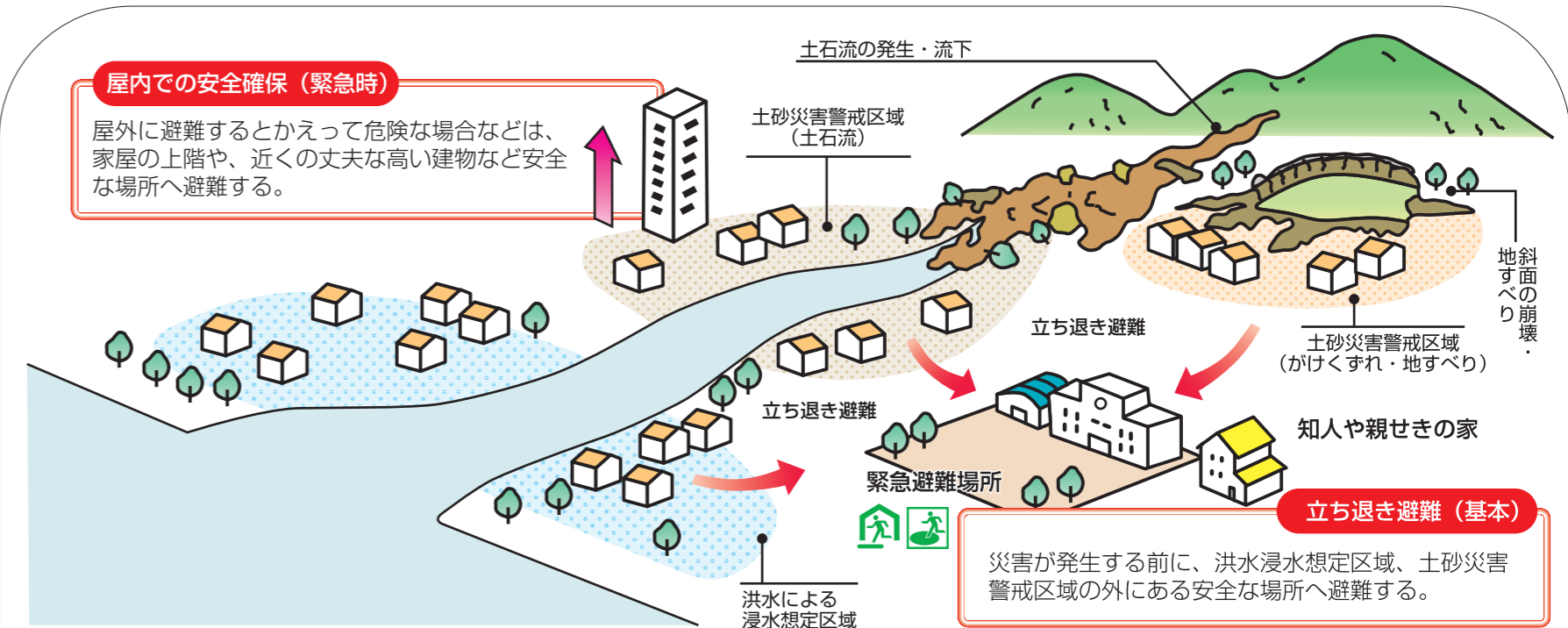
**自主避難について** **危険を感じたらすぐに避難しましょう**  
 局部的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、町からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

### 正確な情報を入手しましょう

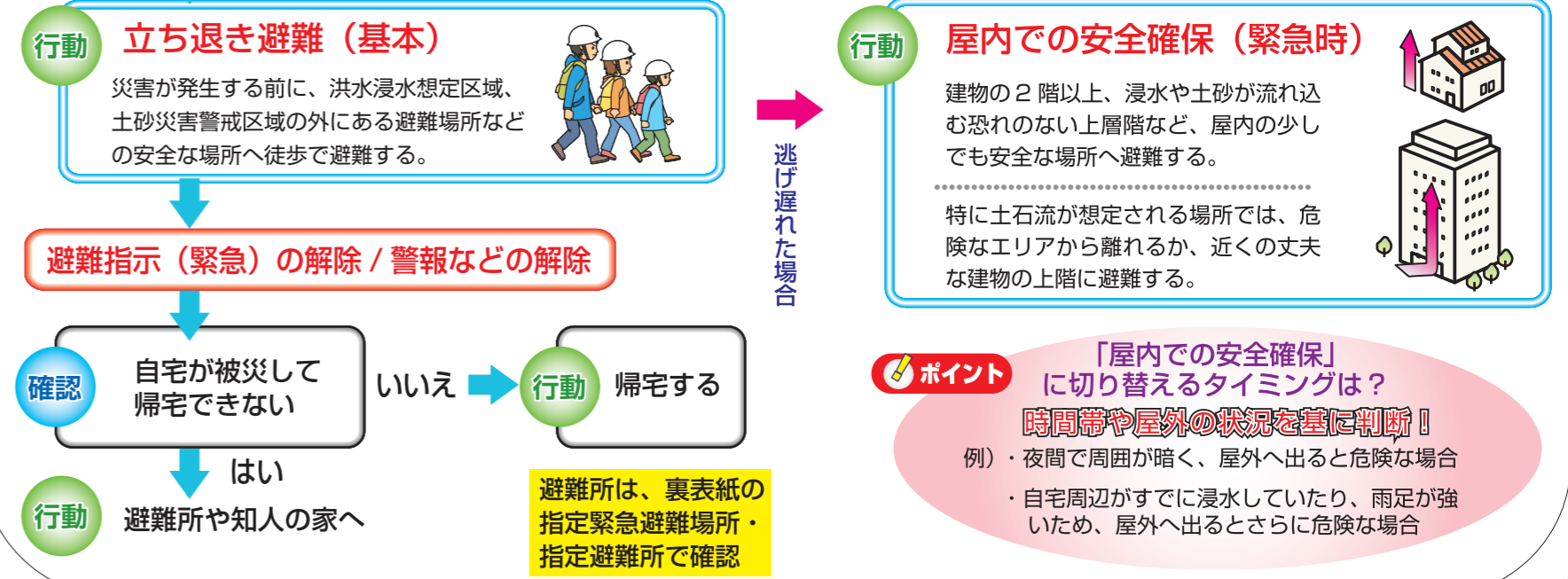
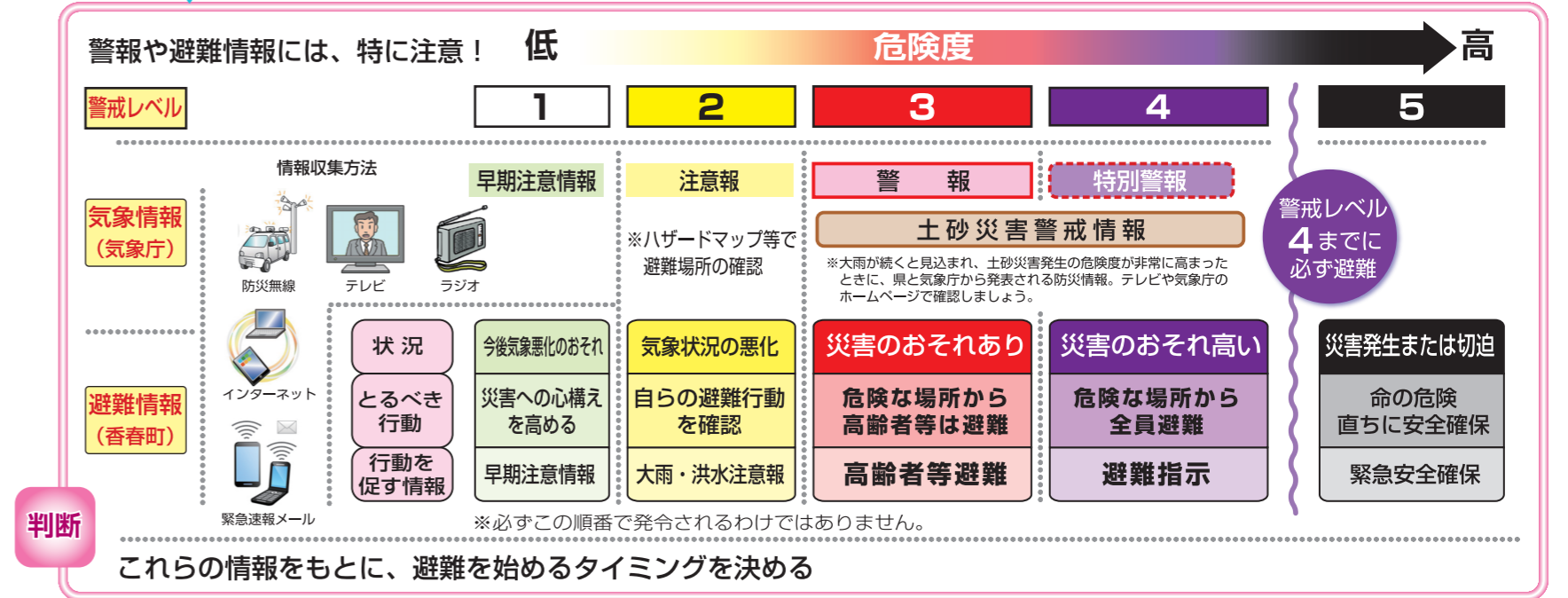
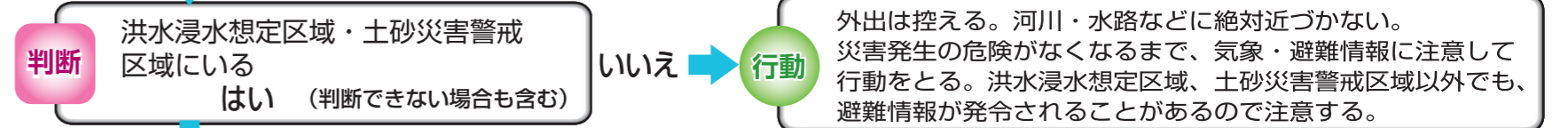
土砂災害や洪水など、他の災害では危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので避難開始の参考としてください。「警戒レベル3」や「警戒レベル4」で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



# 台風・大雨の際の避難行動



### 台風の接近、大雨の恐れ

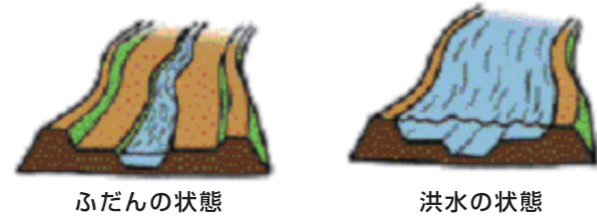


# 水害(洪水)

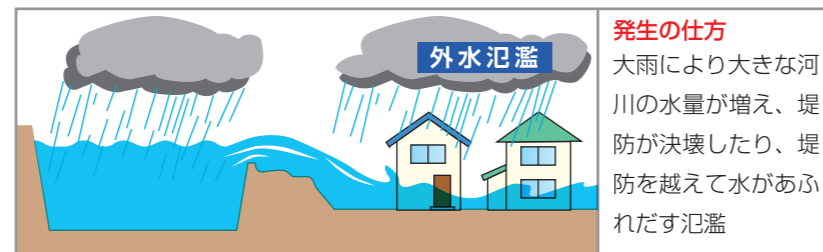
強い雨が広範囲に、長時間続くとき(線状降水帯)に洪水災害が発生する危険性が高まります。発生メカニズムを知り、災害に注意しましょう。

## 洪水の基礎知識

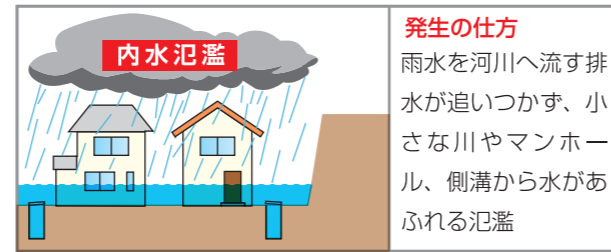
**洪水** 洪水とは大雨によって、川の水の量がふだんより、いちじるしく増えた状態を言います。河原へ行くと広い敷地のわりに細い川しか流れていませんが、この状態がふだんのすがたです。ところが、川幅いっぱいにおしよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。



**外水氾濫** 雨などによって、町や農地などに水があふれることで、川から水があふれることを「外水氾濫」といいます。



**内水氾濫** 川から水があふれたのではなく、町や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水氾濫」といいます。



**洪水浸水想定区域** 地図面に洪水浸水想定区域として記載しています。

想定最大規模の降雨は、国が定めている「地域ごとの最大降雨量」を基に設定されています。近隣の河川における降雨が対象河川でも同じように発生するという考えに基づき、対象河川の流域だけでなく、周辺地域で観測された最大の降雨量により設定するものです。最大規模の降雨が発生した場合に、河川の氾濫により、浸水が想定される範囲と深さを示したものです。水防法の規定に基づき、水位周知河川について、区域の指定・公表が行われています。

※水位周知河川：市町村による避難勧告等の発令判断の目安となる水位を設定し、その水位に到達したときに、到達した旨を県から市町村に通知し、住民に周知する河川(水防法第13条)

**家屋倒壊等氾濫想定区域** 地図面に家屋倒壊等氾濫想定区域として記載しています。

想定最大規模の降雨の場合に、家屋が倒壊するような氾濫流や河岸浸食が発生するおそれが高い区域です。この区域では、洪水時には河川から離れた安全な場所へ、早めの避難を心がける必要があります。

**(氾濫流)**

堤防の決壊などにより河川が氾濫した場合に、木造家屋の流出や倒壊が生じるような強い水の流れるおそれがある区域

**(河岸浸食)**

強い河川の流れにより河岸が浸食され、木造・非木造家屋の倒壊が発生するおそれがある区域

※2階建ての家をイメージしています。10.0m未満

5.0m以上(2階水没)  
3.0m以上~5.0m未満(2階浸水)  
0.5m以上~3.0m未満(1階床上浸水)  
0.5m未満(1階床下浸水)

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

地図面凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)

香春町には該当箇所はありません

浸水想定区域: 国土交通省九州地方整備局 遠賀川河川事務所

# 風水害・台風

大雨や強風は毎年、わたしたちに大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意しましょう。

## 風水害発生時の心得

### 家財道具の移動、家周りの点検

台風が近づいている時は家の周りの物を玄関に入れるなどして片付け、物干し竿などは先に倒しておこう。

### 近くの川の水位上昇に注意する

近くの川の水位が上昇していたら、浸水の恐れがあるので、川岸の家は特に警戒が必要。

### 防災無線を聞き逃さない

避難誘導などのコミュニティ無線や呼びかけには注意し、町役場・消防署・警察署などの指示に従って行動しよう。

### 災害時要援護者の安全を確保

高齢者や傷病者は背中に背負い、子供には浮き輪やベビーバスなどを利用して避難しよう。



### 避難経路の安全を確認

避難するときに腰まで水に浸かるようなら、無理をせず高い場所に避難してから救援を呼ぼう。

### 履き物に注意

素足は厳禁。脱げやすい靴も×。長靴は水が入ると歩きにくくなるので、ひもで結べる運動靴が最適。



### 足下に注意

歩きなれた道でも、洪水時は危険。長い棒などで安全を確認しながら避難しよう。



### 安全に避難する

単独行動を避け、はぐれないようお互いの体をロープなどでつなぐなどしてから避難しよう。



### 逃げ遅れたときは

万が一、逃げ遅れた時は近くの丈夫な建物の2階以上に避難しよう。



## 雨の強さと降り方(1時間雨量)

※ゲリラ豪雨等により20mm~30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

10~20mm やや強い雨	20~30mm 強い雨	30~50mm 激しい雨	50~80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川のはん濫や、かけ崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川ははん濫し、水害発生の可能性が高まります。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強くなり、厳重な警戒が必要です。

## 風の強さと吹き方

※瞬間最大風速は、1.5倍から3倍になる場合があります。

予報用語 平均風速(m/s)	《やや強い風》 10~15	《強い風》 15~20	《非常に強い風》 20~25 25~30	《猛烈な風》 30~
人への影響	風に向かって歩けにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。	立ってられない。屋外での行動は危険。
建造物の被害	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。	ビニールハウスが壊れ始める。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材ががれ、飛び始める。屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

## 台風の強さと大きさ

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上~800km未満	強い	33m/秒以上~44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い 猛烈な	44m/秒以上~54m/秒未満 54m/秒以上

※強風域(風速15m/秒以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)

※風速:m/秒(10分間平均)

# 土砂災害

大雨などにより、地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。

# 地震

地震はいつ起こるか分かりません。地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

## 土砂災害の種類 (土砂災害防止法に基づき土砂災害が発生する恐れのある区域として、土砂災害警戒区域、特別警戒区域を県が指定しています。)

### 土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

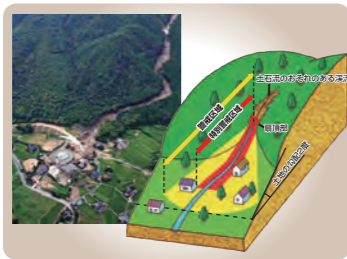
土砂災害防止法に基づき指定された区域であり、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域です。

### 土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

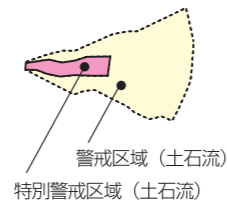
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

### 土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



### ハザードマップの表示



### 前兆現象

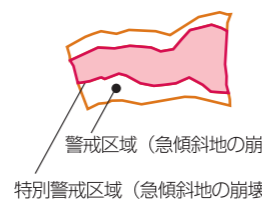
- 山鳴りがする。
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



### ハザードマップの表示

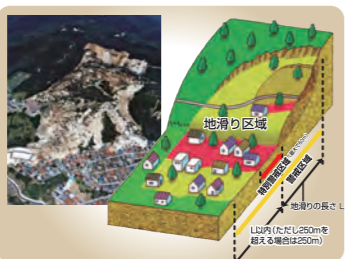


### 前兆現象

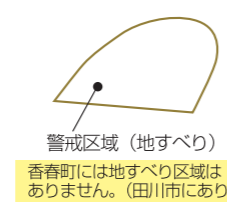
- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がパラパラ落ちてくる。

### 地すべり

斜面の一部或いは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



### ハザードマップの表示



### 前兆現象

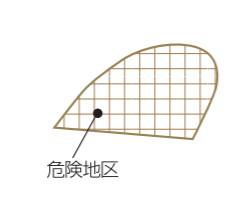
- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

### 山地災害(山腹崩壊危険地区)

山の斜面が崩壊することによる災害(落石による災害も含む)が発生するおそれがある地区をいいます。



### ハザードマップの表示



### 前兆現象

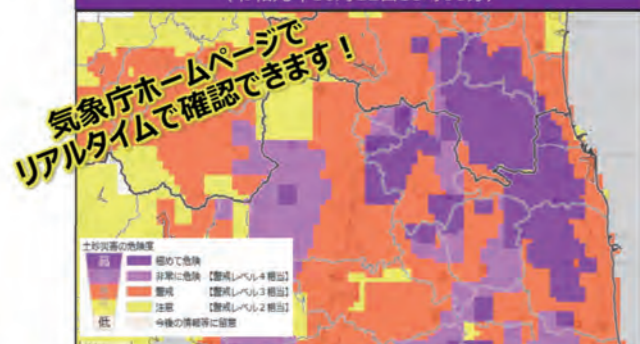
- 山腹の斜面に亀裂やわき水がある。
- ときどき落石がある。

### 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害発生危険度が高まった時に、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表する情報です。情報は市町村単位で発表され、町の防災活動や避難情報の判断を支援し、町民の皆さんの自主避難の判断にも利用できます。

土砂災害警戒情報が発表された時は、いつ土砂災害が起きてもおかしくない非常に危険な状態です。土砂災害の前兆現象を感じたら、早急に避難をしましょう。

丸森町周辺の土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)(令和元年10月12日18時00分)



色が持つ意味	説明
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する状況に命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず極めて危険な状況。この状況になる前に避難を完了しておく。
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。遅くともこの時点で速やかに安全な場所への避難を開始する。
警戒(警報級)	避難の準備を整え、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意(注意報級)	ハザードマップ等で避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。

## 地震が発生したら

### 地震発生!

揺れが収まってから行動する  
家屋倒壊などのおそれがある場合、土砂災害の危険が予想される地域は、**すぐ避難**  
沿岸部は津波のおそれがあるので**高台に避難**

### 身の安全を守る

揺れを感じたら、テーブルや机の下に身を隠し、布団や座布団で頭を保護する。



### 非常脱出口の確保

周囲の状況をよく確かめて、慌てて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動する。



### すばやく火の始末をする

揺れが激しい場合は、揺れが収まってから火の始末をする。



### 地震後の行動

余震には十分**気をつけて行動しましょう**

### 火元を確認

出火がある場合は、落ちていて初期消火する。



### 揺れが収まって油断しない

改めて家族や同居人の安全を確認する。ラジオ・テレビ等で正しい情報を入手する。

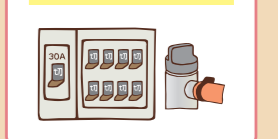


### 避難する時は慌てず

家から離れるときは、外出中の家族に行き先を書いたメモを目立つ場所に残す。必ず徒歩で避難する。服装は活動しやすいものにし、携帯品は必要品のみにして背負うようにする。

### 家を出る前に火の元の確認を

ガスの元栓や、電気のブレーカーを切る。(停電復旧に伴う通電火災防止のため)



## 外出中に地震にあったら

さまざまな状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しましょう。

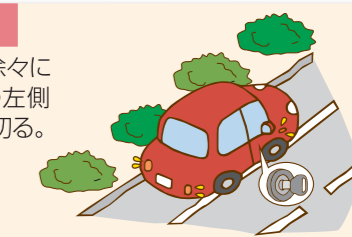
### 街頭や住宅地

- 鞆などで頭を保護し、近くの空き地、丈夫な建物の中や街路樹の下に避難する。(窓ガラスや看板等が落ちてくる危険があります。)
- ブロック塀・門扉・自動販売機・建設現場に近づかない。



### 車の運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車させてエンジンを切る。
- 急ブレーキは絶対に踏まない。
- 避難するときはロックせずに、キーをつけたままにする。(車検証や貴重品は持ち出すこと。)(緊急時に車を移動させる事があるため)



### デパートやスーパー

- カバンや買い物カゴなどで頭を保護し、陳列ケースや陳列棚から離れ、柱や壁際に避難する。係員の指示に従って行動する。



### 電車やバスの中

- 将棋倒しや網棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにしっかりとつかまる。
- 乗務員の指示に従って落ち着いて行動する。

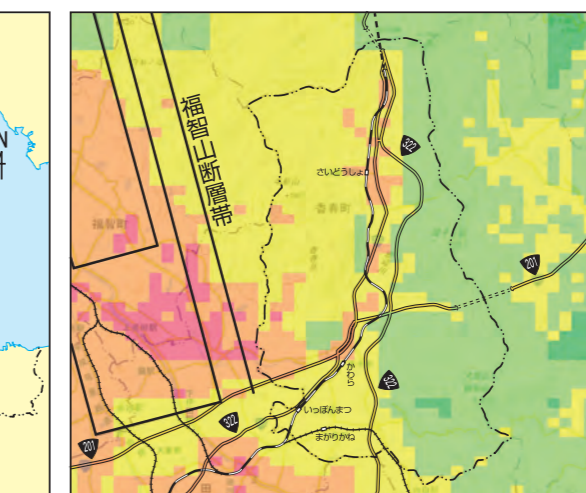
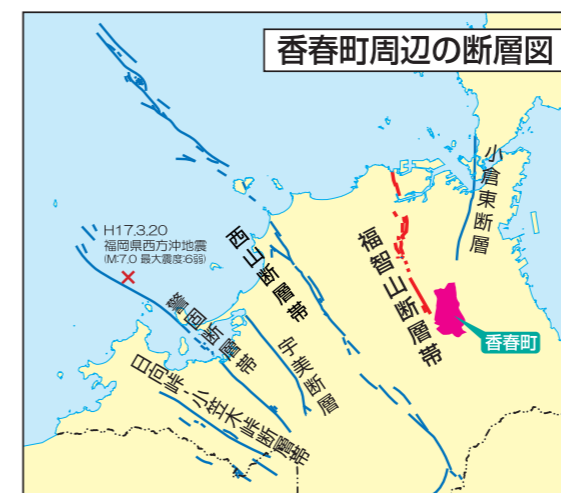


### オフィス街や繁華街

- ガラスや看板、ネオンサインなどの落下物に注意する。
- その場に立ち止まらず、手荷物で頭を守りながら広い場所に逃げる。
- 建物や電柱からも離れる。自動販売機も倒れてくる可能性があるため注意する。

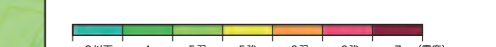


## 香春町周辺の断層帯及び福智山断層帯地震による想定震度分布図



香春町の周りには断層帯があります、この震度分布図は福智山断層帯地震による想定震度分布図です。平成17年3月20日には、福岡県西方沖地震が発生し、香春町では震度3の揺れが観測されました。

福智山断層帯地震による想定震度分布図  
出典元: J-SHIS 地震ハザードステーション  
2021年版より





# 災害時に役立つ知識

## 事前に登録しましょう

### 防災メール・まもるくん

1 地震、津波、台風、大雨等の防災気象情報、避難勧告等の配信

2 災害時の安否情報通知

3 地域の安全に関する情報の配信

4 福岡県避難支援マップ

メール登録無料



#### ◆その他の配信情報

- 地域の防災情報(防犯情報、光化学オキシダント情報、PM2.5 情報など)
- 重大な情報(航空災害、鉄道災害など)
- 生活情報(熱中症情報、紫外線情報、花粉情報、JR九州運行情報、福岡・北九州都市高速道路情報など)
- 透析メール(透析医療機関の被災状況)

下記アドレスに空メールを送信し、その返信メールの内容に従って登録します。

メール配信システム

mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

## 災害発生時の家族の安否を確認するには

### 災害用伝言ダイヤル

**TEL** 被災地への電話が繋がりにくい状況になった場合、安否などの情報を音声で録音・確認できる声の伝言板です。

伝言を **録音** する場合 ▶ 1 7 1 ▶ 1 ▶ 0947-xx-xxxx ▶ 伝言を入れる (30秒以内)

音声による案内「被災地」にいる人の電話番号(市外局番から)をダイヤルするが流れます。

伝言を **再生** する場合 ▶ 1 7 1 ▶ 2 ▶ 0947-xx-xxxx ▶ 伝言を聞く

**WEB** インターネットを利用して被災地にいる人の安否などの情報を文字で登録・確認できる伝言板です。

災害用伝言板(web171)の利用方法については、NTTのホームページをご覧ください。 <http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html>

### 携帯電話の災害用伝言板

災害時、各社ケータイサイトに開設された災害用伝言板で、被災者の安否などの情報を登録・確認できます。

伝言を **登録** する場合 ▶

インターネット

災害用伝言板

「登録」を選択して伝言を入力する。

伝言を **確認** する場合 ▶

「確認」を選択し、安否を確認したい人の携帯電話番号を入力して伝言を見る。

#### ●各社の災害用伝言板サイトアドレス

- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- ワイモバイル <http://dengon.ymobile.jp/info/>

## いざという時の連絡

火事・救急は **119**

行方不明・交通・防犯等は **110**

香春町役場 ☎(0947)32-2511

<http://www.town.kawara.fukuoka.jp/>

田川地区消防署  
☎(0947)44-0650

田川警察署  
☎(0947)42-0110

福岡県田川県土整備事務所  
☎(0947)42-9111

# 避難時の心構え

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。避難とは難を避けること、それぞれが自ら判断し命を守る最低限の行動をとってください。

## 避難する際の心得

### 1 非常持ち出し品を準備しておきましょう

チェックリストで確認を!

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な人や乳幼児などへ優先的に配付されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空くりュックバックが便利です。重すぎないかどうか、背負って確かめましょう。

### 2 避難先・避難ルートを確認しておきましょう

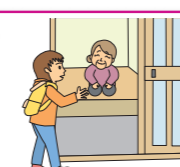
浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、平時から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも町役場が準備した避難所である必要はありません。親戚宅、知人宅、職場なども避難先の選択肢になり得ます。

### 3 避難の方法を確認しておきましょう

自家用車での避難は、緊急車両の通行を妨げるとともに、交通渋滞を巻き起こします。どうしても自家用車での避難が必要な場合は、より早めの避難開始が重要です。

### 5 ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。隣近所に声をかけ集団での避難を心がけましょう。



### 4 早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。身の危険を感じたら避難情報が届くのを待たずに自主的に避難を開始してください。

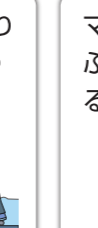


### 6 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

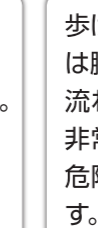
長靴や裸足は危険です。運動靴をはきましょう。



長い棒や杖代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。



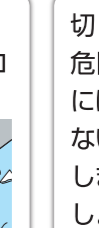
マンホール等のふたが開いている場合があります。



歩ける深さの目安は膝下までです。流れが速い場合は非常に危険です。



はぐれないようお互いの身体を口で結んで避難しましょう。



切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。



## 避難はせずに自宅に滞在する際の心得

### 1 周囲が浸水してからの自宅外避難は危険です

屋内の2階以上へ(建物倒壊の危険がない場合)緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

### 2 身の安全を確保しましょう

地下室や低い場所にあるドアは開けておきましょう。水圧でドアが開かなくなり危険です。

### 3 水道・電気・ガス・トイレなどのライフラインの停止に備えましょう

ライフラインが復旧するまでの数日間のために飲料水や食料などの備蓄があると安心です。(3日分)

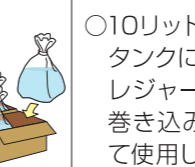


### 4 家屋や家財の被害軽減を図りましょう

●簡易水防工法は、ご家庭にあるものを使って家屋への浸水の流入を防ぐ方法です。水深が浅い段階では有効です。

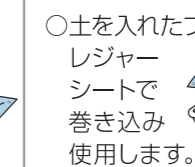
#### ゴミ袋による簡易水のう工法

○40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



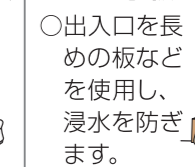
#### ポリタンクとレジャーシートによる工法

○10リットル又は20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



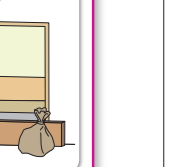
#### プランターとレジャーシートによる工法

○土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。



#### 止水板による工法

○出入口を長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

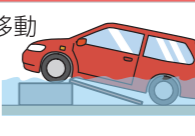


●水に浸ってしまった家財は一瞬にしてゴミと化してしまいます。できる限り家財被害の軽減を図りましょう。

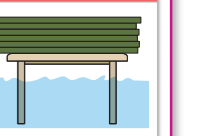
○通帳・保険証・パスポートなどの貴重書類は、浸水を免れる高い場所へ移動しておきましょう。



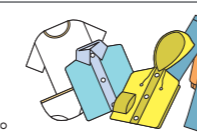
○自家用車は早めに安全な場所へ移動しておきましょう。移動が困難な場合であっても、せめてエンジン部分の浸水を防ぎましょう。



○畳は高い場所へ移動しておきましょう。食卓などの上に載せておくだけでも浸水を防げる場合があります。



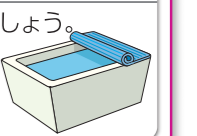
○数日分の衣類だけでも浸水から退避させておきましょう。



○高価な家電製品や思い出が詰まったアルバムなど簡単に移動できるものはできるだけ高い場所へ移動しておきましょう。



○風呂の浴槽の水は溜めておきましょう。(排水路の逆流防止、生活用水としての利用、下流地域の水位低減などの利点があります。)



### 5 被災後は安全を点検しましょう

- 断線した電線が家屋に触れていないか確認しましょう。
- 落下や倒壊の危険物は無いか確認しましょう。
- 浸水の被害にあったら念入りに消毒しましょう。

- 水害を受けたら衛生に注意しましょう。水道水は煮沸し、手の消毒を忘れないようにしましょう。
- 活動時にケガをしないよう、肌を露出しない服装で、ヘルメットも着用しましょう。
- 家の中は風通しを良くして乾燥させましょう。

# 避難所について

避難所では、限られた空間の中でたくさんの方が生活します。ルールを守り、住民が主体的に避難所運営に関わり、良好な環境を保ちましょう。

## 車中泊避難の注意点

- 車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコンの完備、ラジオからの情報入手などの利点もありますが、健康を損ねるなどの危険性もあります。エコノミークラス症候群による関連死、排気ガスによる一酸化炭素中毒に注意しましょう。

### 一酸化炭素中毒の予防対策

- ・こまめに窓を開けるなど、換気をしましょう。
- ・暖房機器についている排気口に異常がないか確認しておきましょう。

### エコノミークラス症候群の予防対策

- ・できるだけ体を動かしましょう。
- ・座ったままでも、足の指やつま先を動かすなど足の運動をしましょう。
- ・十分な水分をとり、脱水症状にならないようにしましょう。
- ・避難所ではゆったりとした服装で過ごしましょう。

## 避難所での生活

### 生活ルールを守りましょう。

- 所持品は、1か所にまとめて、緊急時にはすぐに持ち出せるようにしましょう。
- 避難者同士がトラブルにならないためにも、所持品に名前を書いておきましょう。
- 起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。

### 生活環境を衛生的に

- ゴミは所定の場所へ。
- トイレや浴室などの衛生を保ちましょう。発災後にトイレが使用できない場合に備えて簡易トイレなども備蓄しておくとう便利です。
- 掃除などは定期的に行い、清潔な状態を保ちましょう。

### 役割分担して運営に参加しましょう。

- 避難者もできる範囲で、受け付けや清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担をしましょう。
- 助け合いながら避難所運営に参加しましょう。

### 災害時要配慮者への配慮

- 障がいのある人や高齢者、妊産婦の方には、手助けをしましょう。
- 車いすが通行できるよう、バリアフリー化をしましょう。
- おむつ交換や補装具交換が必要なときは、間仕切りカーテンを設けるなどの配慮をしましょう。
- ちょっとした工夫と配慮で、みんなが生活しやすい環境をめざしましょう。

## 感染症対策

- 災害が発生した場合の避難所では、密閉した空間の中での集団生活等により新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザや風邪等の感染症のリスクが高まる恐れがあります。少しでも感染リスクを軽減するために次のことについて、地震や風水害発生時の避難に備えて平時から準備をお願いいたします。

### 避難者の健康状態の確認

- ・ご自宅での体温測定。
- ・発熱、咳などの症状がある方は、かかりつけ医に相談してください。

### 手洗い、咳エチケット等の基本的な対策の徹底

- ・頻繁に手洗いをしましょう。
- ・マスクの着用による咳エチケット
- ・他の人と2m以上離れ、会話も最小限にしましょう。

### 親戚や友人の家等への避難の検討

- ・避難時に、避難所が過密状態になることを防ぐために、可能な場合は親戚や友人の家、ホテル等へ避難することを検討してください。

## 犯罪に気をつけましょう

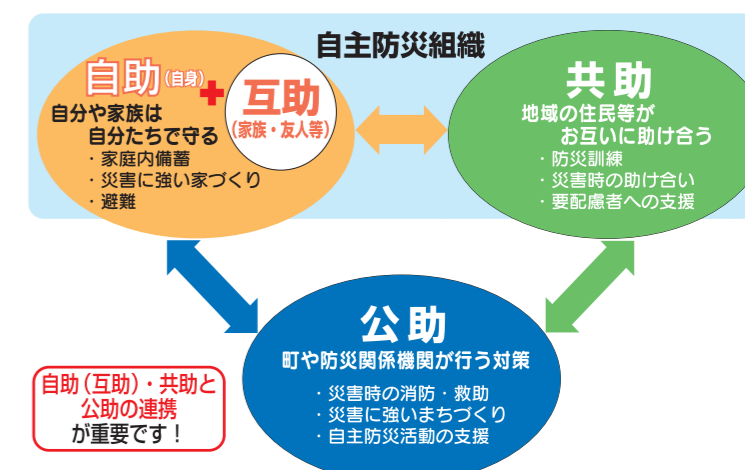
- 避難所では窃盗や詐欺、性犯罪、押し売りなどの犯罪に注意して、怪しい人を見かけたら、警察官や施設担当者に連絡しましょう。

# 地域で災害に備えましょう

地域に暮らす私たちは、お互いに助けたり、助けられたりする関係にあります。近所や地域の方々とのつながりを保つことが、自身や家族の命を守ることに繋がります。

## 地域みんなで助け合おう

大規模な災害時には、行政の対応能力（公助）を超える被害が予想されます。そのため、住民が自分の身を守ること（自助）に全力を尽くすことを最優先に行うことが基本です。しかし、高齢者や障がいのある方など自助が難しい方には、家族や友人、近所の人たちと助け合うこと（互助）が大切になります。いざというときに助け合うためには、日ごろからのあいさつなど助け合える関係性を築きましょう。



## 地域での防災の取り組み

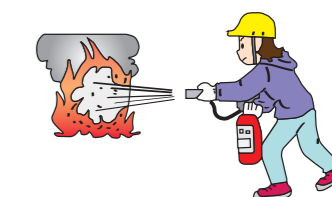
### 自主防災組織に参加しましょう

大規模災害時に頼りになるのが、地域の住民で運営する自主防災組織です、積極的な参加をお願いいたします。



### 防災訓練や防災研修に参加しましょう

町や地域、消防団が主催する防災訓練や避難所運営などに参加することで、地域防災力に加え、自身の防災力も向上します。



### ご近所ネットワークに参加しましょう

各行政区の活動に参加することは、地域のつながりをつくる一番の近道です。また、近所の人とのあいさつや会話、町の広報誌などに掲載されている地域のイベントや公民館などで開催される会などに参加することも地域の輪の一つの方法です。



### いざという時の援助を頼んでおきましょう

高齢者世帯などで、自分たちだけでは速やかな情報収集や避難が難しい場合もあります。心配な場合は、事前に親戚や近所の方などに、いざという時の援助などを相談しておきましょう。



### 高齢者や障がいのある方を災害から守りましょう

障がいのある方など、災害時特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域の皆さんの支援が必要になります。地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活を支援しましょう。

## 誘導する際のポイント

- **高齢者や傷病者の方**  
○災害時にはおんぶして安全な場所まで避難する。  
○リヤカーなどがあれば搬送に活用する。  
○複数の介護者で対応する。
- **目の不自由な方**  
○声をかけ情報を伝える。  
○誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- **耳の不自由な方**  
○話すときは、口をはっきりと開け、相手に分かりやすいようにする。  
○手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。
- **車いすを利用している方**  
○階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後向きにして移動する。  
○介護者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



# 防災重点ため池

防災重点ため池とは、ため池が決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等があり、人的被害を与えるおそれのあるため池のことです。

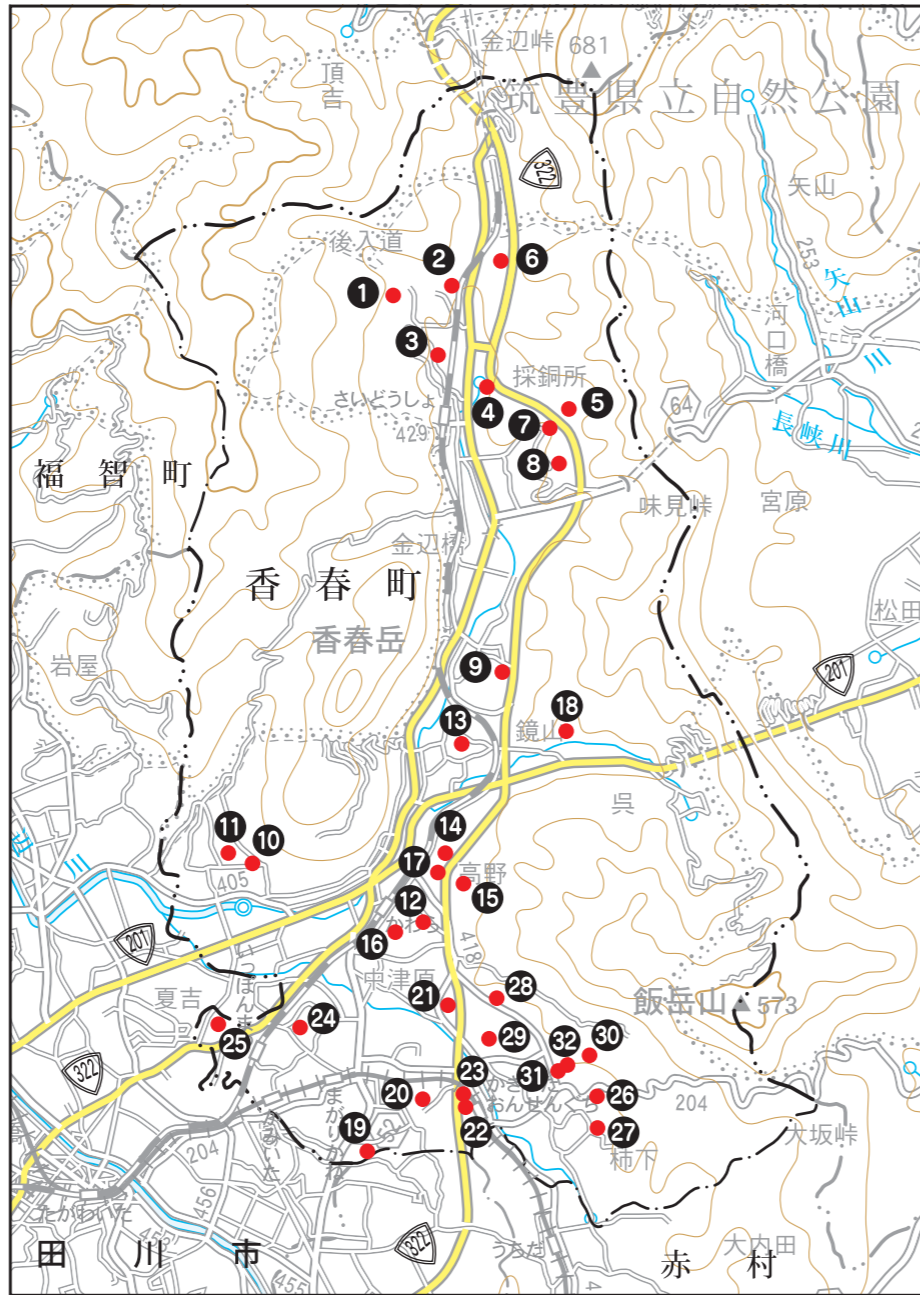
平成30年7月豪雨では、西日本の各地で防災重点ため池ではない小規模なため池が決壊し、甚大な被害が発生しました。

そこで、国において防災重点ため池の選定基準の見直しが行われ、本町で再選定を行った結果、それまで1か所(呉溜池)であった防災重点ため池は、合わせて32か所となりました。

別添えの地図にも防災重点ため池の位置を示していますので、家族や地域のみなさんで確認し、大雨や大地震の際の避難行動に役立ててください。

なお、香春町が作成した「ため池ハザードマップ」を14~17ページに載せています。このマップには、ため池が決壊した場合に想定される浸水の区域や深さ、到達時間などの情報を示していますので、あわせて活用してください。

防災重点ため池位置図



## 防災重点ため池一覧

位置図番号	名称	ふりがな	堤高(m)	総貯水量(m³)	位置図番号	名称	ふりがな	堤高(m)	総貯水量(m³)
1	源治葉山(野中)溜池	げんじはやま(のなか)	3.0	10,000	17	丸山溜池	まるやま	7.0	5,500
2	大坪溜池	おおつぼ	6.8	4,000	18	寺川内溜池	てらかわち	5.0	2,000
3	山門溜池	やまかど	4.0	2,700	19	才の木溜池	さいのき	5.0	10,000
4	小迫溜池	こさこ	4.0	800	20	鷺の巣溜池	さぎのす	4.5	11,000
5	東東山溜池	ひがしひがしやま	3.0	3,000	21	千坊溜池	せんぼう	7.0	11,000
6	十田(道原)溜池	じゅうでん(どうばる)	2.0	600	22	池ノ尾(上)溜池	いけのお(かみ)	4.5	11,000
7	神田溜池	かんだ	2.5	1,600	23	池ノ尾(下)溜池	いけのお(しも)	4.5	6,000
8	平ノ浦溜池	ひらのうら	4.0	6,000	24	タラノ木溜池	たらのみ	5.0	3,000
9	八反田溜池	はったんだ	3.0	3,000	25	豊産溜池	ほうさん	4.0	2,400
10	谷口溜池	たにぐち	3.5	8,000	26	蛇谷原溜池	じゃじゃんばる	7.0	23,000
11	福光溜池	ふくみつ	5.0	33,000	27	立石溜池	たていし	9.7	39,000
12	皿山溜池	さらやま	4.5	8,000	28	愛宕溜池	あたご	3.0	4,000
13	上岩原溜池	かみいわはら	5.0	4,000	29	岸高溜池	きしたか	3.0	6,000
14	井川溜池	いかわ	5.0	4,000	30	新堤溜池	しんてい	5.0	4,000
15	丸山(上)溜池	まるやま(かみ)	6.0	4,000	31	小市郎(下)溜池	こいちろう(しも)	2.0	1,000
16	松丸溜池	まつまる	3.0	1,800	32	小市郎(上)溜池	こいちろう(かみ)	4.0	2,000

この色で囲んでいるため池ハザードマップを掲載しております。  
 ※一覧に掲載されている防災重点ため池は地図面に防マークで示しています。

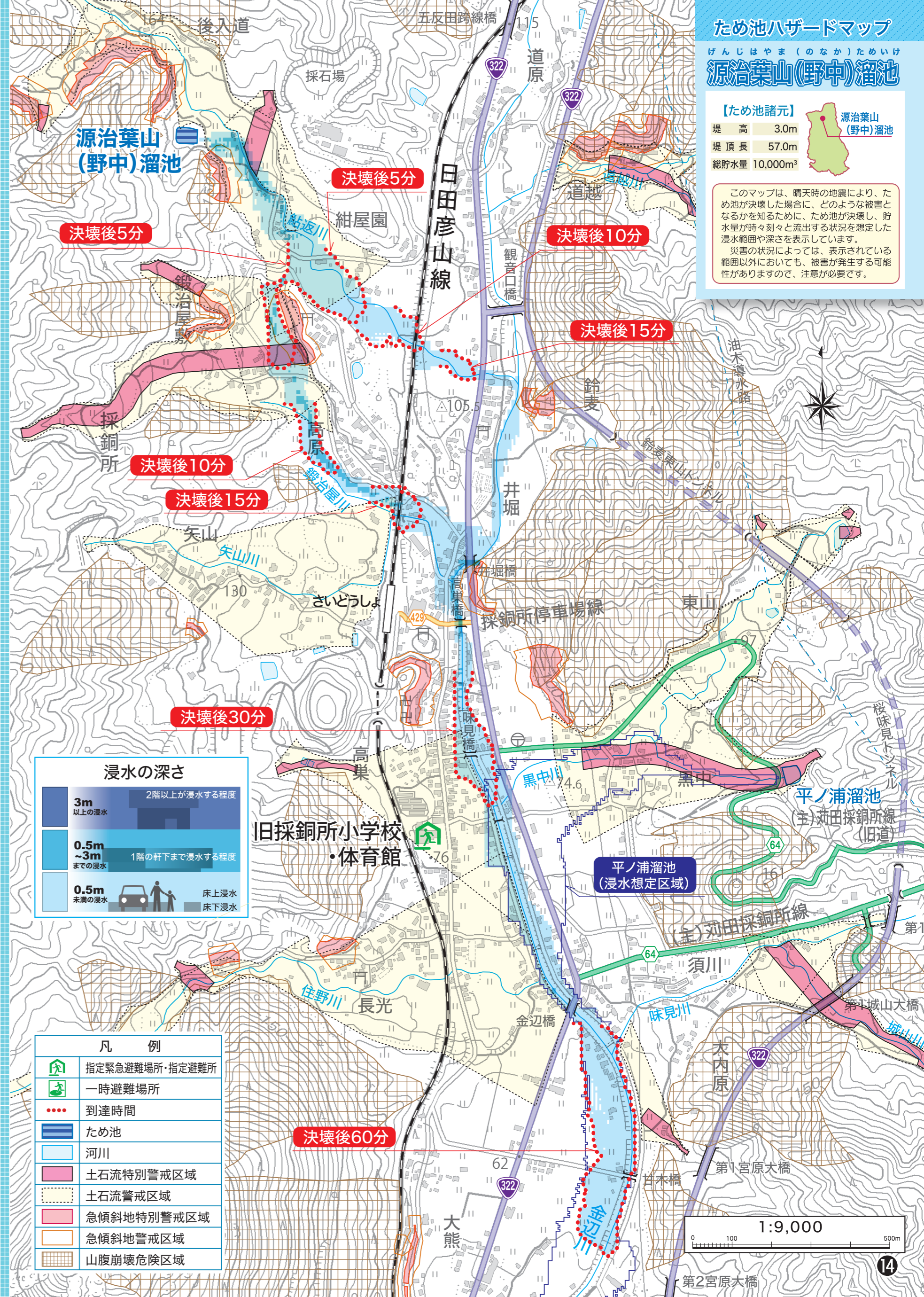
## ため池ハザードマップ

### 源治葉山(野中)溜池

【ため池諸元】  
 堤高 3.0m  
 堤頂長 57.0m  
 総貯水量 10,000m³



このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、ため池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。  
 災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



#### 浸水の深さ

- 3m以上の浸水: 2階以上が浸水する程度
- 0.5m~3mまでの浸水: 1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m未満の浸水: 床上浸水、床下浸水

#### 凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 一時避難場所
- 到達時間
- ため池
- 河川
- 土石流特別警戒区域
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地特別警戒区域
- 急傾斜地警戒区域
- 山腹崩壊危険区域

1:9,000

ため池ハザードマップ

ひらのうら ためいけ  
**平ノ浦溜池**

【ため池諸元】  
堤 高 4.0m  
堤 頂 長 50.0m  
総貯水量 6,000m³

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、ため池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。  
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

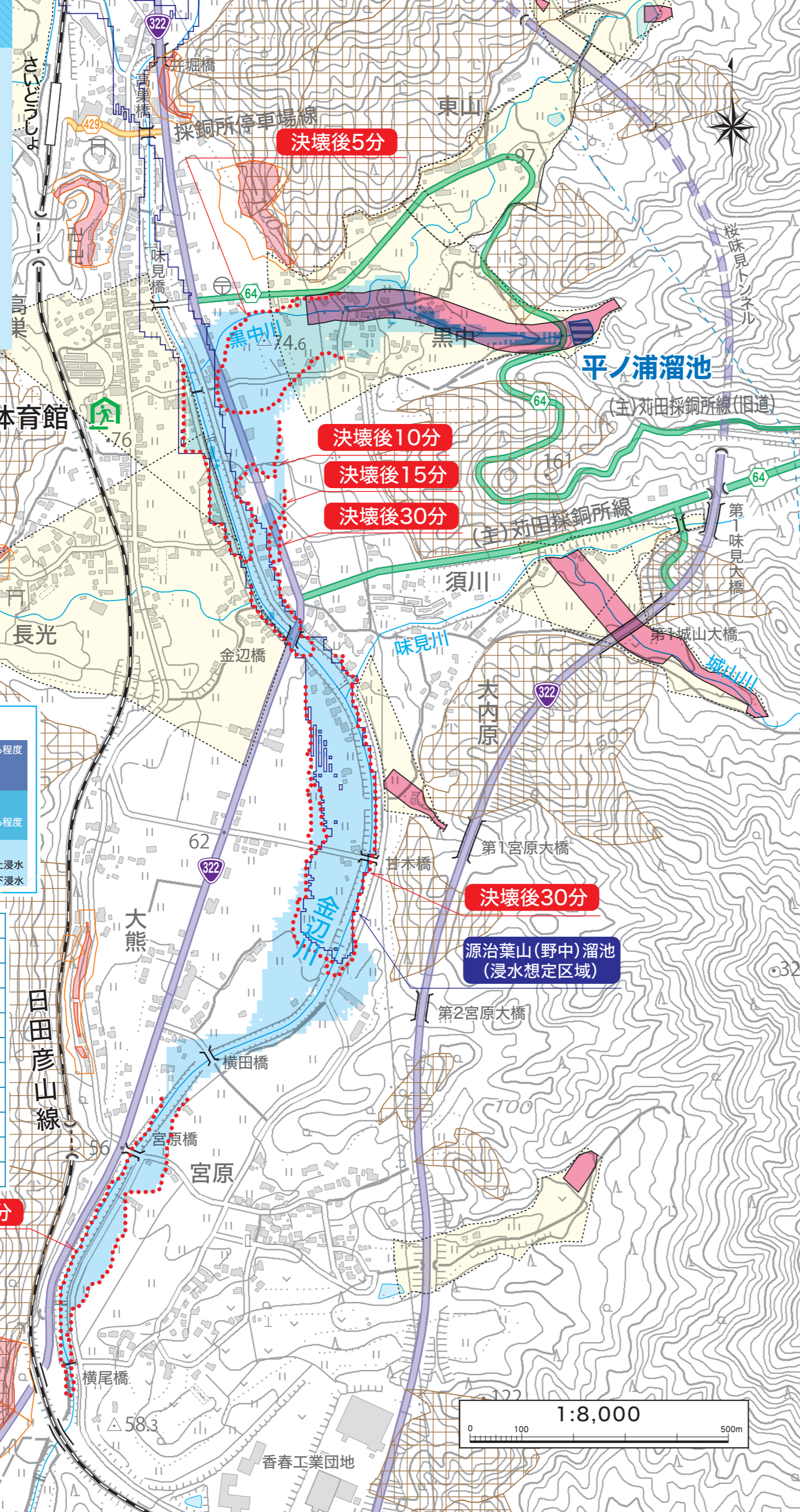
旧採銅所小学校・体育館

**浸水の深さ**

- 3m以上の浸水 2階以上が浸水する程度
- 0.5m~3mまでの浸水 1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m未満の浸水 床上浸水 床下浸水

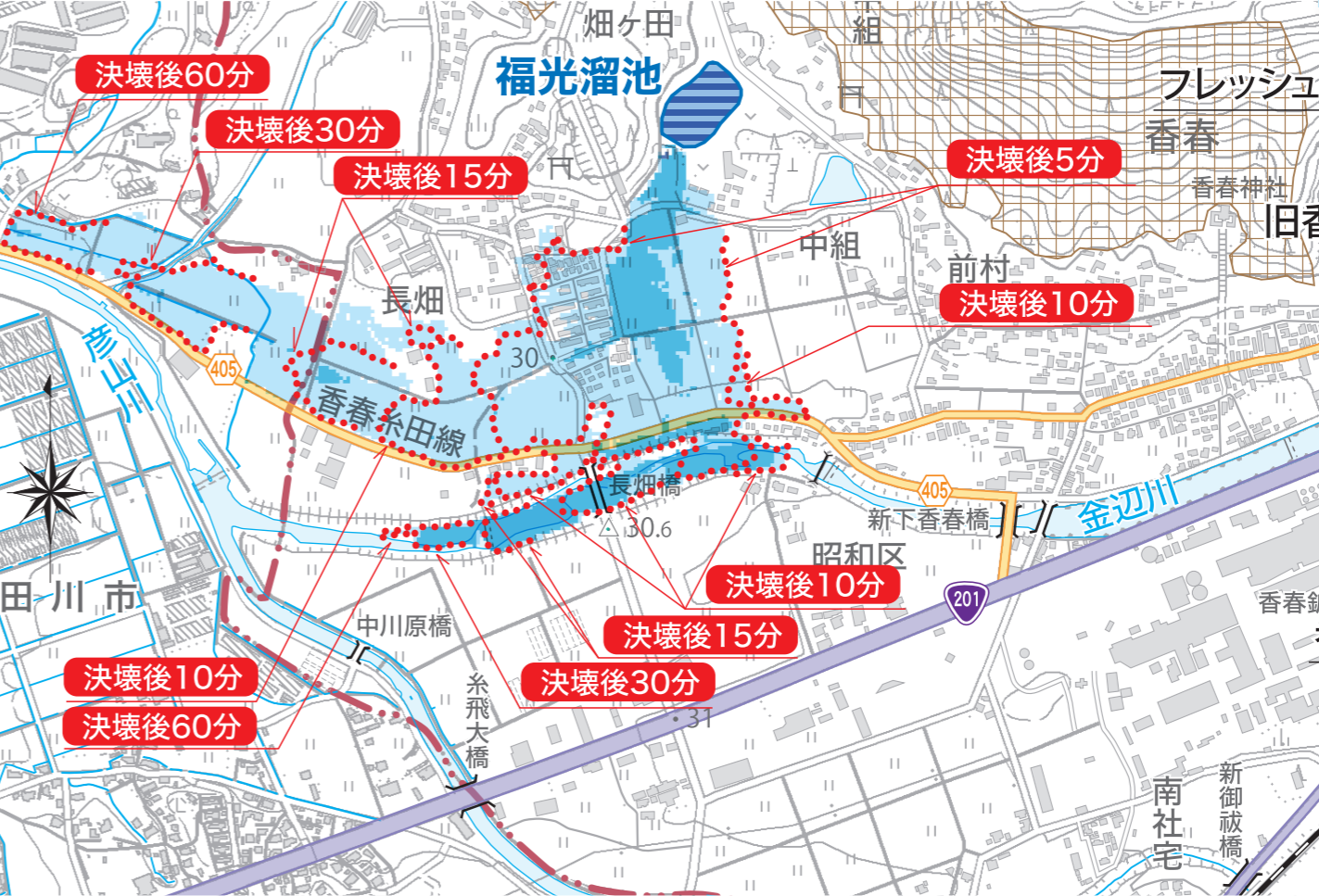
凡 例	
	指定緊急避難場所・指定避難所
	一時避難場所
	到達時間
	ため池
	河川
	土石流特別警戒区域
	土石流警戒区域
	急傾斜地特別警戒区域
	急傾斜地警戒区域
	山腹崩壊危険区域

決壊後60分



**浸水の深さ**

- 3m以上の浸水 2階以上が浸水する程度
- 0.5m~3mまでの浸水 1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m未満の浸水 床上浸水 床下浸水



**浸水の深さ**

- 3m以上の浸水 2階以上が浸水する程度
- 0.5m~3mまでの浸水 1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m未満の浸水 床上浸水 床下浸水



凡 例	
	指定緊急避難場所・指定避難所
	到達時間
	ため池
	河川
	土石流特別警戒区域
	土石流警戒区域
	急傾斜地特別警戒区域
	急傾斜地警戒区域
	山腹崩壊危険区域

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、ため池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。  
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

ため池ハザードマップ

ふくみつ ためいけ  
**福光溜池**

【ため池諸元】  
堤 高 5.0m  
堤 頂 長 74.0m  
総貯水量 33,000m³

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、ため池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。  
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

フレッシュワークかわら

**浸水の深さ**

- 3m以上の浸水 2階以上が浸水する程度
- 0.5m~3mまでの浸水 1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m未満の浸水 床上浸水 床下浸水



ため池ハザードマップ

まるやま(かみ) ためいけ  
**丸山(上)溜池**

【ため池諸元】  
丸山(上)溜池  
堤 高 6.0m  
堤 頂 長 40.0m  
総貯水量 4,000m³  
丸山溜池  
堤 高 7.0m  
堤 頂 長 55.0m  
総貯水量 5,500m³

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、ため池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。  
災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



